

岩手県の 土地改良

2017(5月) No.574

■発行所／岩手県土地改良事業団体連合会 盛岡市本宮二丁目10番1号
TEL(盛岡)019(631)3200 FAX(盛岡)019(631)3260

■編集発行人／田山 清 ■印刷所／永代印刷株式会社

<http://www.iwatochi.com>

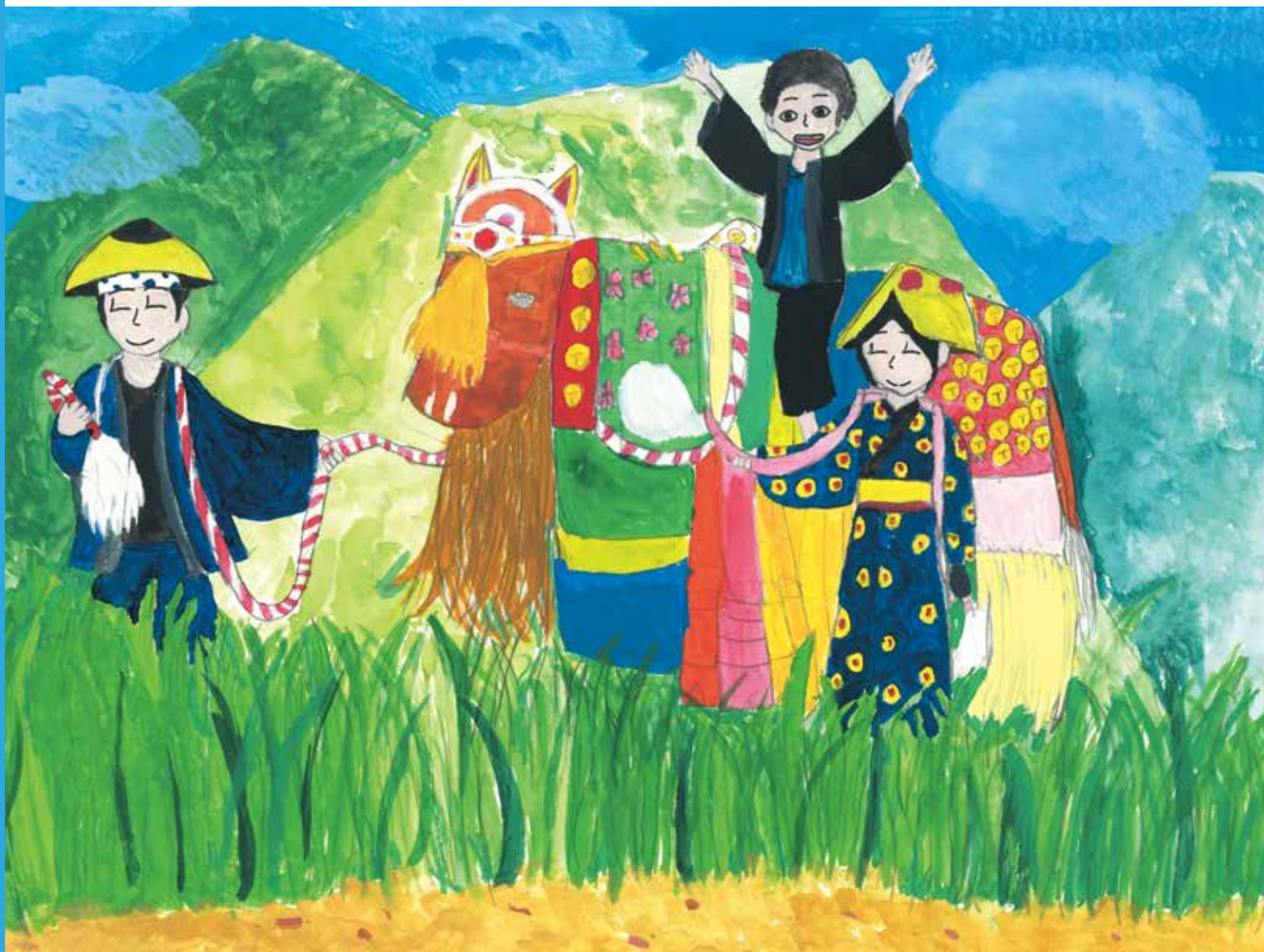


CONTENTS

- 水土里ネットいわて第59回通常総会を開催…………… 2
- 水土里ネットいわて新役員2名が就任 …………… 3
- 平成28年度土地改良功労者表彰 …………… 3
- 土地改良区の更なる発展を目指して …………… 4
- 平成28年度活動状況と平成29年度活動計画を審議… 5
- 平成29年度予算の十分な配分を要請 …………… 5
- 本県から3団体2氏が荣誉に輝く …………… 6
- 摺糠地区農地・水・環境保全会が祝賀会を開催………… 6
- 胆沢平野土地改良区が大賞を受賞…………… 7
- 千葉大作氏が岩手県農林水産業表彰を受賞…………… 7
- 平成29年度 水土里ネットいわて 事務局体制図…… 8
- 新規採用職員の紹介 …………… 8
- 平成28年度 水土里ネットいわて 資格取得者………… 8

「チャグチャグ馬コ」 米島 聖菜

H28年度小中学生による「美しく豊かな村づくり」絵画コンクール 小学校高学年の部 銀賞



水土里ネットいわて第59回通常総会を開催

— 提案12議案を可決承認 —

本会（及川正和会長）では、3月29日に県知事の代理として紺野由夫農林水産部長をはじめ、田村誠岩手県議会議長、東北農政局長の代理として齋藤伸地方参事官ほか多数の来賓出席のもと、第59回通常総会を開催し、平成29年度事業計画など12議案を審議した。

開会に当たり及川会長は「組織目標の『農業・農村のセーフティーネットを目指す』を掲げながら、農業の競争力強化に向けた政策目標や、国の謳う農政新時代への対応、そして多発傾向にある自然災害への対応に向け、国や県、関係機関と連携し、役職員一丸となって取り組んでいく」と述べた。

また、昨年8月に発生した台風10号災害における災害発生直後から災害査定までの本会の対応に対し、感謝状が紺野部長から及川会長に手渡された。

総会では、平成28年度土地改良功労者表彰式が行われ、永年にわたり農業農村整備事業の推進や土地改良区運営に貢献した役員6名と職員11名に対し、及川会長から表彰状と記念品が授与された。

表彰式後、阿部萬太郎紫波東部土地改良区理事長が議長に選任され、議案審議が進められた。



【紺野部長(左)から感謝状を授与される
及川本会会長(右)】

議事では、平成27年度一般会計収入支出決算、平成28年度一般会計収入支出等二次補正予算及び平成29年度事業計画案など11議案が、原案どおり全会一致で可決承認された。

役員の補欠選任議案については、及川哲朗岩手中部土地改良区理事長と小野寺道雄照井土地改良区理事長が満場の一致で選任された。

最後に、『農業農村整備に係る平成30年度当初予算の確保や、農地中間管理機構と連携したほ場整備事業を含む土地改良法の速やかな改正、農業水利施設の防災・減災対策の推進』等を求める決議文を、満場の拍手で採択して総会を終了した。

決 議

- 国においては、安定的・計画的に農業農村の整備が進むよう、コメの直接支払交付金が廃止される平成30年度当初予算においては、現場のニーズに十分応えられる規模の農業農村整備予算を確保すること。
- 農地中間管理機構と連携した農業者の費用負担と同意を求めないほ場整備事業の創設や、機能向上を伴う施設更新の事業手続きの簡素化等を盛り込んだ土地改良法等の改正を速やかに進めること。
- 担い手への農地集積や生産費の低減、高品質・高収益作物生産の前提となる水田の大区画化・汎用化を一層推進するとともに、中山間地域等においても、農業経営の持続的発展に向けて、地域特性を踏まえた基盤の整備が可能となるよう十分配慮すること。
- 生産性・収益性の一段と高い農業の展開によって東日本大震災からの復興を実感することができるよう、復興予算を確保すること。併せて、ため池を含む老朽化した農業水利施設の機能向上を含む、耐震化、洪水被害防止対策等の防災・減災対策を進めること。
- 多面的機能支払制度の推進に当たっては、地域協議会や水土里ネットがこれまで培った技術、経験など持てる能力を十分に発揮し、制度の効率的・効果的な推進に貢献できるよう、十分な予算を確保すること。
- 構造改革の推進による組合員の減少や電力料金の値上げなど、水土里ネットの運営基盤が揺らいでいる中、今後とも担い手等の求める施設の高度な維持管理が行えるよう、農事用電力の維持など水土里ネットの運営基盤の強化を図ること。
- 県においては、本県農地の八割を中山間地域が占めている特質に配慮し、計画的に生産基盤の整備を進めること。

平成29年3月29日 岩手県土地改良事業団体連合会 第59回通常総会
「農業・農村のセーフティーネットを目指して」

水土里ネットいわて新役員2名が就任

第59回通常総会において、本会の役員に及川 哲朗
岩手中部土地改良区理事長と小野寺 道雄 照井土地
改良区理事長が選任されました。



【及川哲朗 理事】



【小野寺道雄 理事】

— 平成28年度土地改良功労者表彰 —

● 役員の一部

氏 名	所 属	役 職 名
高 橋 光 幸	松 川 土 地 改 良 区	理 事
菊 地 榮 作	北 上 川 東 部 土 地 改 良 区	前 総 括 監 事
千 葉 慶 市	北 上 川 東 部 土 地 改 良 区	前 理 事
舞 草 驍	照 井 土 地 改 良 区	代 理 理 事
佐 藤 正 弘	市 野 々 土 地 改 良 区	理 事
齋 藤 衛	市 野 々 土 地 改 良 区	監 事

● 職員の一部

氏 名	所 属	役 職 名
佐 藤 和 仁	山 王 海 土 地 改 良 区	管 理 課 管 理 係 長
藤 原 康 陽	豊 沢 川 土 地 改 良 区	総 務 課 長 補 佐 兼 会 計 係 長
戸 來 恵 美	豊 沢 川 土 地 改 良 区	業 務 課 評 価 換 地 係 主 任
佐々木 渡	胆 沢 平 野 土 地 改 良 区	水 利 整 備 課 施 設 係 長
野 村 弥	胆 沢 平 野 土 地 改 良 区	総 務 課 総 務 係 長
菊 池 光 春	江 刺 猿 ヶ 石 土 地 改 良 区	工 務 課 工 務 係 長
及 川 初 雄	奥 州 市	農 林 部 農 地 林 務 課 長
高 橋 眞 理 子	永 沢 土 地 改 良 区	事 務 局 長
後 藤 仁	岩 手 県 土 地 改 良 事 業 団 体 連 合 会	総 務 管 理 部 管 理 指 導 課 主 査
工 藤 浩 一	岩 手 県 土 地 改 良 事 業 団 体 連 合 会	農 村 振 興 部 環 境 整 備 課 主 査
桑 田 忍	岩 手 県 土 地 改 良 事 業 団 体 連 合 会	農 村 振 興 部 換 地 課 主 査



【及川会長（前列中央）と土地改良功労者表彰受賞者】

土地改良区の更なる発展を目指して — 水土里ネット役員研修会を開催 —

本会は、2月7日から8日の日程で、盛岡市つなぎ温泉ホテル紫苑において『平成28年度水土里ネット役員研修会』を開催し、土地改良区役職員等302名が出席した。

開会にあたり、及川正和本会会長が「昨年は、今後の土地改良のあり方に大きな追い風となる二つの流れがあった。一つ目は昨年7月の参議院選挙において、進藤金日子氏が、土地改良の代表として当選を果たされたことであり、二つ目は、国において新たな『土地改良長期計画』が策定されたことと『土地改良関係予算』に回復の兆しが見えることである。特にも予算確保については、計画的な事業推進に不可欠な当初予算の回復に期待が高まっている。本年はこうした状況を踏まえ、引き続き予算確保の活動や昨年8月に発生した台風災害からの復興について、会員の皆様と力を合わせて進んでまいりたい」と挨拶した。



【挨拶する及川本会会長】

続いて、来賓としてご臨席いただいた米田博次東北農政局農村振興部長、多田繁岩手県農林水産部農村計画課総括課長からご挨拶をいただいた。



【来賓挨拶する米田部長】

研修の1日目は、進藤金日子参議院議員（都道府県土地改良事業団体連合会会長会議顧

問）が『国政報告：農業農村整備の今後の展開方向』と題し、参議院農林水産委員会での質問内容や、自身の掲げる『3つの約束と6つの全力』について、具体例を交えながら講演された。



【講演する進藤議員】

続いて、皆川芳嗣株式会社農林中金総合研究所理事長（元 農林水産省事務次官）が『農業・農村を支える土地改良への期待』と題し、歴史的な背景や諸外国との比較などを織り交ぜながら、土地改良が果たす役割について講演された。



【講演する皆川理事長】

講師のお二人は、農業農村整備に精通されているとともに、学生時代を盛岡で過ごされていることから、本県へのご理解が深いこともあって、大変、盛り上がった講演会となった。

2日目は、三浦憲一郎税理士（本会 外部監査人）が『土地改良区の会計と役員の役割～会計事務の事故を未然に防止するために～』と題し、会計事務における事故の事例や、それを未然に防止するために土地改良区の役員がすべきことなどをわかりやすく解説した。

参加者は、各講師からの農業・農村の振興に関わる多角的な視点でのお話に、改めて土地改良区が果たすべき役割について思いを新たにしていた。

平成28年度活動状況と平成29年度活動計画を審議 — 岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ通常総会・研究会を開催 —

2月28日、岩手県議会農業農村整備推進議員クラブ（渡邊幸貫会長）は通常総会を開催した。

渡邊会長の開会挨拶に続いて、来賓として出席した田村誠県議会議長と紺野由夫県農林水産部長がそれぞれ祝辞を述べた。

議事では平成28年度の活動報告・収支決算及び平成29年度の活動計画並びに収支予算（案）について審議が進められ、全会一致で可決承認された。



【挨拶する渡邊会長（左から3人目）】



【研究会の様子】

その後に開催された研究会では、多田繁県農林水産部農村計画課総括課長が『本県農業農村整備事業の取組方向』と題して、ほ場整備地区や畑地かんがい地区における高収益農業の取組、東日本大震災津波被災農地等の復旧・復興の取組状況、平成28年度台風第10号災害における被災農地等の復旧の取組状況、平成29年度農業農村整備関係予算の概要について説明を行った。

平成29年度予算の十分な配分を要請 — 岩手県と合同で要請 —

本会は1月30日、農林水産省に対し、平成29年度当初予算の確保と本県への配分について、岩手県と合同で要請活動を行った。

千葉県農林水産部農村建設課総括課長と本会の及川正和会長が、室本隆司農村振興局次長、奥田透整備部長に面会し要請した。

また、昨年8月に発生した台風10号の災害については、査定が年内に完了したことを報告し、国の迅速な対応について、御礼を申し上げた。

要望に対し室本次長からは、「岩手県内で取り組まれている6次産業化等の優良事例について、更に広く情報発信していただきたい。高収益作物の導入を踏まえた基盤整備の予算確保について、しっかり取り組んでいきたい」とのお話があった。

また、奥田部長からは、「補正予算はTPPの前提のみで措置したものではなく、発効を見据えた体質強化を目的に措置してきたところであり、今後も進めていきたい。なお、当初予算については、事業を計画的・安定的に進めるた

め、確保していく必要がある」とのコメントをいただいた。



【室本次長（左から3人目）への要請の様子】



【奥田部長（中央）に要請書を手渡し、千葉農村建設課総括課長（左）と及川会長（右）】

本県から3団体、2氏が荣誉に輝く — 全国水土里ネット表彰式が開催 —

3月24日、全国土地改良事業団体連合会（二階俊博会長）は、第58回全国土地改良功労者表彰式並びに平成28年度農業農村整備優良地区コンクール表彰式を東京都砂防会館にて開催し、山本有二農林水産大臣、佐藤速水農村振興局長をはじめ多数の来賓の方々が出席した。

全国土地改良功労者表彰は、良好な運営を継続している土地改良区と、土地改良区の運営に多大な貢献をされた個人を表彰するもので、121土地改良区、個人116名が受賞した。また、農業農村整備優良地区コンクールは、農業農村整備の実施を契機に、農村振興や地域活性化等の成果を挙げている優良地区（団体）を表彰するもので、20団体が受賞した。

本県からは摺糠地区農地・水・環境保全会が、農業農村整備優良地区コンクールの最高位となる農林水産大臣賞に輝いた。授賞式では山下正勝摺糠地区農地・水・環境保全会代表が登壇し、山本農林水産大臣から表彰状が授与されると、参加者から盛大な拍手が送られていた。

- ◎平成28年度農業農村整備優良地区コンクール
農林水産大臣賞 摺糠地区農地・水・環境保全会
- ◎第58回全国土地改良功労者表彰
- 【団体表彰】 金章 久慈市土地改良区
銀章 二戸市土地改良区
- 【個人表彰】 役員 熊谷研（気仙川土地改良区理事長）
職員 藤村義光（鹿妻穴堰土地改良区総務課長）



【山本有二農林水産大臣から表彰状を授与される
山下正勝摺糠地区農地・水・環境保全会代表】



【八重櫻友夫久慈市土地改良区副理事長（右）、
森登二戸市土地改良区事務局長（左）】



【熊谷研気仙川土地改良区理事長（左）、
藤村義光鹿妻穴堰土地改良区総務課長（右）】

摺糠地区農地・水・環境保全会が祝賀会を開催 — 農業農村整備優良地区コンクール農林水産大臣賞受賞 —

3月26日、一戸町摺糠地区農地・水・環境保全会（代表山下正勝：馬淵川沿岸土地改良区理事長）は、奥中山地区公民館において、『平成28年度農業農村整備優良地区コンクール農林水産大臣賞受賞祝賀会』を開催した。

祝賀会に、鈴木俊一衆議院議員、平野達男参議院議員をはじめ、稲葉暉一戸町長、紺野由夫岩手県農林水産部長の代理として千葉匡農村建設課総括課長ほか来賓並びに関係者90名が出席した。

開会にあたり、山下代表が「このたびの受賞は、私たちの世代から次の世代に引き継ぐ大きな“たすき”となり、この地域一帯が維持発展するよう、今後も住民が一丸となって営農活動に精進していきたい」と挨拶した。

そして、田山清岩手県多面的機能支払推進協議会長（本会専務理事）が「本県からの推薦地区が最高位の大賞を受賞するのは、ここ3年間で2度目であり、事業主体の県はもちろん、推薦事務を担当している本会としても大きな喜び。保全会のますますのご発展を願う」と乾杯の発声をし、開宴となりました。



【挨拶する山下代表】

胆沢平野土地改良区が大賞を受賞 — 平成28年度農業農村整備事業広報大賞 —

全国農村振興技術連盟（林田直樹委員長）が主催する『平成28年度農業農村整備事業広報大賞』において、胆沢平野土地改良区（及川正和理事長）が、全国から推薦された45団体の中から最高位となる大賞を受賞した。

この広報大賞は、農業農村整備に係る広報活動の中で、特に創意工夫がなされ、その成果が優れている団体を表彰するもので、26回目の開催となる。

平成29年2月16日に開催された東京フォーラム（農村振興研修会）において表彰式が行われ、林田委員長から及川理事長へ表彰状が授与された。

胆沢平野土地改良区は、胆沢ダムや土地改良区の役割を地域住民に理解してもらい、親しみをもってもらうため、イメージソングやダンスの創作、収穫祭や施設見学バスツアーの実施、噴水の整備などの活動を展開している。こ

れらの活動が農村振興の重要性や社会的意義について、地域住民から広く理解を得られる内容であったと評価され、大賞の荣誉に浴した。

本県では、平成23年度に須川土地改良区が受賞して以来、5年ぶりの大賞受賞であり、胆沢平野土地改良区の大賞受賞は、平成10年度以来2回目となる。



【林田委員長(左)から表彰を受ける及川理事長(右)】

千葉大作氏が岩手県農林水産業表彰を受賞 — いわて農林水産躍進大会にて —

1月20日に岩手県民会館で開催された、いわて農林水産躍進大会（主催：いわて農林水産振興協議会、岩手県）において、千葉大作市野々土地改良区理事長が『岩手県農林水産業表彰』を受賞した。

この賞は、永年にわたり農林水産業に関する団体の運営、協同組織の育成、農林水産業の振興に尽力され、顕著な功績があった方が表彰されるもので、本年度は千葉氏を含む8名が受賞した。

千葉氏は、平成16年に市野々土地改良区理

事に就任し、平成24年からは理事長として未収賦課金を解消するなど土地改良区の運営に尽力された。また、県営中山間地域総合整備事業の実施においては、営農組織の法人化や農地を地域の中心経営体へ集積する体制づくりに寄与するなど、農林水産業の振興発展に貢献された。これらの功績が認められ今回の受賞に至った。

このほか、『岩手県アドプト活動モデル賞』及び『岩手県農地・水環境保全向上活動モデル賞』の授与が行われ、県内各地から参集した農業関係者約900名から盛大な拍手が贈られた。

○アドプト活動モデル賞

受 賞 団 体	関係市町村
(協定団体) 照井土地改良区	一関市
(実施団体) JAいわて平泉女性部中里支部	
(協定団体) 一関市	一関市
(実施団体) ニッコー・ファインメック株式会社	

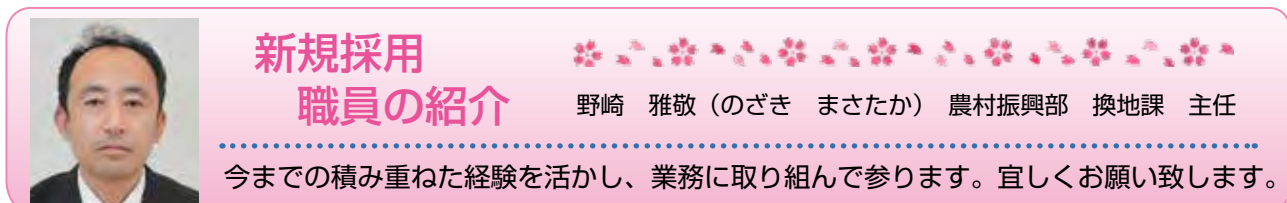
○農地・水環境保全向上活動モデル賞

受 賞 団 体	関係市町村
谷 地 上 地 区 環 境 保 全 協 議 会	盛岡市
森 子 保 全 会	八幡平市
富 沢 地 域 農 業 保 全 組 合	花巻市
横田中央農地・水・環境保全向上組合	陸前高田市



【表彰状を手にする千葉理事長】

四



者

-